

玉川大学学術研究所人文科学研究センター

平成26年度 第2回公開講演会 (シンポジウム)

# 理論言語学が採用する方法論的 自然主義とその実用性について

Chomsky (1994) “Naturalism and dualism in the study of language and mind”に定位して

提題者 ● 藤井友比呂氏

横浜国立大学環境情報研究院准教授。現在の教育担当は、大学院情報メディア環境学専攻および理工学部情報工学教育プログラム。専門は言語学。特に理論統語論、言語理論。米国メリーランド大学Ph.D.(言語学, 2006)。南山大学、大東文化大を経て、2009年より現職。最近の論文には以下のものがある。

“Comparative remarks on wh-adverbials in situ in Japanese and Chinese”  
(2014, 共著, *Japanese syntax in comparative perspective*, Oxford University Press)

“Interpreting thematic relations cyclically” (2013, *Syntax* 16)

“A head movement analysis of complement/adjunct asymmetries in Japanese te-clauses” (2013, 共著, *Proceedings of the Fourteenth Tokyo Conference on Psycholinguistics*)

平成26年 **11** 月 **1** 日 (土) 15時より

玉川大学5号館 B115教室

小田急小田原線「玉川学園前」駅下車 徒歩10分

■ **入場無料** どなたでもご参加いただけます

お問合せ ● 玉川大学学術研究所 人文科学研究センター  
042-739-8131 [humanitas@tamagawa.ac.jp](mailto:humanitas@tamagawa.ac.jp)

特定質問者 ● 渡部 明氏 (純真短期大学) / 林 大悟氏 (玉川大学) / 實川 真理子氏 (京都薬科大学)



Tamagawa University  
Research Institute  
Humanities Research Center